

火災救急救助年報

平成 28 年版



防府市消防本部

も く じ

警防の部

はじめに	1
第1表 防府市消防本部現有消防力	2
第2表 消防機関の出動状況	3

火災の部

火災の概況	4
平成28年火災一目統計	4
第3表 火災発生状況（前年との比較）	5
第4表 火災種別月別出火件数	6
第5表 火災種別原因別出火件数	6
第6表 月別り災世帯数及びり災人員	6
第7表 時間帯別原因別出火件数	7
第8表 過去5か年の火災発生状況	8
第9表 地区別火災発生状況	9

救急の部

救急の概況	10
平成28年救急一目統計	11
第10表 救急出動件数（総件数）	12
第11表 過去10年間の救急出動状況	13
第12表 事故種別・月別救急出動件数及び搬送人員	14
第13表 事故種別曜日別出動件数	15
第14表 事故種別時間帯別搬送人員	15
第15表 平日・休日別事故種別搬送人員	16
第16表-1 年齢区分別事故種別搬送人員	16
第16表-2 年齢区分別事故種別搬送人員（詳細）	17
第17表 事故種別傷病程度別搬送人員	18
第18表 発生場所別搬送人員	18
第19表 現場到着所要時間別出動件数	19
第20表 収容所要時間別搬送人員	19
第21表 救急隊員の行った応急処置数	20
第22表-1 収容医療機関別搬送人員	21
第22表-2 救急医療体制施設別搬送人員	21
第23表 署所別出動件数及び搬送人員	22

救助の部

救助の概況	23
平成28年救助一目統計	23
第26表 事故種別救助活動の状況	24
第27表 発生場所別救助活動の状況	24
第28表 事故種別出動車両の状況	25
第29表 事故種別出動件数・救助人員の状況	25
第30表 過去5年間の救助出動状況	26

警 防 の 部 は じ め に

この年報は、平成28年（1月～12月）における防府市消防本部管轄内の消防現勢及び火災・救急・救助活動等の消防業務について、その状況をまとめたものです。

※ 防府市消防本部管轄内の市勢
(平成29年1月1日現在)

防府市（平成28年度消防費1,280,845千円）

人	口	117,152 人	
面	積	189.37 km ²	
世	帯	数	55,145 世帯

(消防防災・震災対策現況調査による)

第1表 防府市消防本部現有消防力（平成29年1月1日現在）

(1) 消防職員及び消防団員数

消 防 職 員	定数	154人	消 防 団 員	定数	408人
	実数	132人		実数	402人

(2) 消防隊組織

消 防 隊	常 備 消 防	1本部・1署・2出張所
	非 常 備 消 防（ 団 ）	1団本部・13分団
	私 設 消 防 隊	防火重点地域29隊（女性消防隊2含む） 周辺地域及び離島9隊（女性消防隊1含む）

(3) 消防用車両等

種 別	所 有 別	合 計	本 部 署	消 防 団	事 業 所 消 防 隊	私 設 消 防 隊
合 計		83	36	16	17	14
消 防 ポ ン プ 自 動 車		14	4	7	3	
水 槽 付 消 防 ポ ン プ 自 動 車		3	3			
化 学 消 防 車		8	3		5	
は し ご 自 動 車		1	1			
小 型 動 力 ポ ン プ		23	6	3		14
救 急 自 動 車		12	5		7	
救 助 工 作 車		1	1			
小 型 動 力 ポ ン プ 付 水 槽 車		1	1			
小 型 動 力 ポ ン プ 付 積 載 車		7		6	1	
指 揮 車		1	1			
資 機 材 搬 送 車		2	2			
広 報 車		2	2			
泡 原 液 搬 送 車		1			1	
そ の 他 の 車 両		7	7			

(4) 消防水利

消 火 栓	公 設	1,770	防 火 水 槽	公 設	156
	私 設	72		私 設	161

第2表 消防機関の出動状況

署・団別 出動区分	合 計	署		団	
	出 動 人 員	出 動 件 数	出 動 人 員	出 動 件 数	出 動 人 員
合 計	21,075	6,116	19,800	38	1,275
火 災	782	41	608	14	174
救 急	13,482	4,494	13,482		
救 助	498	34	498		
風 水 害	75	4	14	3	61
演習・訓練	915	43	585	7	330
広報・指導	276	198	276		
警 防 調 査	388	120	388		
火 災 調 査	282	44	282		
特 別 警 戒	432	5	59	5	373
捜 索	0	0	0	0	0
予 防 査 察	2,616	885	2,616		
そ の 他	490	13	153	9	337
支 援 出 動	677	221	677		
誤 報 等	162	14	162		

火 災 の 部

◎ 火災の概況

1 管内の火災件数は前年を上回る

平成28年の火災発生件数は41件であった。前年の火災発生件数（30件）と比較して、11件の増である。

その内訳は、平成27年の建物火災14件、林野火災 3件、車両火災 4件、船舶火災 0件、その他火災9件に対して、平成28年は建物火災24件(10件増)、林野火災 1件(2件減)、車両火災 3件(1件減)、船舶火災 0件(増減無)、その他火災13件(4件増)となっている。

2 損害額は増加

平成28年の火災による損害額は60,230千円で、前年の2,385千円と比較して57,845千円の増となっている。

なお、建物火災の損害額は56,678千円で、損害額全体の94.1%を占めている。

3 出火原因の内訳

平成28年の主な出火原因は、「放火」が 7件、「たばこ」が6件、次いで「不明」が 5件と上位を占めた。

4 火災による死傷者

火災による死傷者は、死者 3人、負傷者1人となっている。

平 成 28年 火 災 一 目 統 計

火災件数	41 件	(平成27年	30 件)
火災損害額	60,230 千円	(平成27年	2,385 千円)
焼損建物棟数	34 棟	(平成27年	14 棟)
建物焼損床面積	925 m ²	(平成27年	107 m ²)
死者数	3 人	(平成27年	1 人)
負傷者数	1 人	(平成27年	5 人)
り災世帯数	22 世帯	(平成27年	9 世帯)
り災人員	46 人	(平成27年	16 人)
出火率	3.4 ポイント	(平成27年	2.5 ポイント)

(※ 出火率とは、人口1万人当たりの出火件数をいう。)

第3表 火災発生状況（前年との比較）

年 別 区 分		単 位	平成27年	平成28年	増・減
火 災 件 数	合 計	件	30	41	11
	建 物	件	14	24	10
	林 野	件	3	1	▲ 2
	車 両	件	4	3	▲ 1
	船 舶	件	0	0	0
	その他	件	9	13	4
	損害額	千円	2,385	60,230	57,845
焼 損 棟 数	合 計	棟	14	34	20
	全 焼	棟	1	9	8
	半 焼	棟	0	2	2
	部分焼	棟	6	8	2
	ぼ や	棟	7	15	8
建 物 被 害	床面積	m ²	107	925	818
	表面積	m ²	20	29	9
	損害額	千円	2,058	56,678	54,620
り 災	世帯	世帯	9	22	13
	人員	人	16	46	30
人 的 被 害	死者	人	1	3	2
	負傷者	人	5	1	▲ 4
林野被害		a	2	4	2

第4表 火災種別月別出火件数

月別 種別	合計	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
合計	41	1	5	4	6	5	1	1	8	2	3	3	2
建物	24		2	2	4	3	1	1	5	1	2	2	1
林野	1	1											
車両	3				1	1					1		
船舶	0												
その他	13		3	2	1	1			3	1		1	1

第5表 火災種別原因別出火件数

原因別 種別	合計	たばこ	こんろ	焼却炉	ストーブ	煙突・煙道	排気管	電灯・配線の配線	内燃機関	配線器具	火あそび	ライター・たき火	取灰	放火	放火の疑い	その他	調査不明	
合計	41	6	1	0	3	0	1	1	1	2	3	1	3	2	7	2	3	5
建物	24	4	1		3			1	1	2	1		2	3	2	1	3	
林野	1											1						
車両	3						1							1		1		
船舶	0																	
その他	13	2									2		3		3		1	2

第6表 月別り災世帯数及びり災人員

月別 種別	合計	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	
合計	世帯数	22	0	7	2	3	3	0	1	3	0	1	1	1
	人員	46	0	14	5	4	4	0	4	6	0	4	2	3
全損	世帯数	8		4		1	2			1				
半損	世帯数	1			1									
小損	世帯数	13		3	1	2	1		1	2		1	1	1

全損： 建物（収容物を含む。以下半損、小損において同じ）の火災損害額がり災前の評価額の70%以上のものをいう。

半損： 建物の火災損害額が、り災前の建物評価額の20%以上で全損に該当しないものをいう。

小損： 建物の火災損害額が、り災前の建物評価額の20%未満をいう。

第7表 時間帯別原因別出火件数

原因	時間帯 合計	0	2	4	6	8	10	12	14	16	18	20	22	時間不明
		2	4	6	8	10	12	14	16	18	20	22	24	
合計	41	1	0	2	3	1	4	7	5	9	1	6	1	1
たばこ	6				1			2		2		1		
こんろ	1									1				
かまど	0													
風呂かまど	0													
炉	0													
焼却炉	0													
ストーブ	3			1				1				1		
こたつ	0													
ボイラー	0													
煙突・煙道	0													
排気管	1						1							
電気機器	0													
電気装置	0													
電灯・電話等の配線	1									1				
内燃機関	1				1									
配線器具	2					1			1					
火あそび	3								1	1	1			
マッチ・ライター	1									1				
たき火	3						1	1		1				
溶接機・切断機	0													
灯火	0													
衝突の火花	0													
取灰	2							1				1		
火入れ	0													
放火	7	1		1			1	1				1	1	1
放火の疑い	2								1	1				
その他	3				1			1				1		
不明・調査中	5						1		2	1		1		

第8表 過去5か年の火災発生状況

区 分		年 別				
		平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年
火 災 件 数	合 計	50	49	41	30	41
	建 物	23	28	23	14	24
	林 野	0	1	1	3	1
	車 両	6	3	7	4	3
	船 舶	0	0	0	0	0
	そ の 他	21	17	10	9	13
損 害 額 (千円)	合 計	70,846	103,448	36,275	2,385	60,230
	建 物	63,094	97,421	22,397	2,058	56,678
	林 野	0	0	0	0	0
	車 両	7,731	6,009	13,871	296	3,480
	船 舶	0	0	0	0	0
	そ の 他	21	18	7	31	72
建物焼損床面積 (m ²)		1,003	1,172	511	107	925
建物焼損表面積 (m ²)		47	3,693	5	21	29
林野焼損面積 (a)		0	4	30	2	4
り 災 世 帯 数		18	22	11	9	22
り 災 人 員		41	47	29	16	46
死 者		2	4	3	1	3
負 傷 者		5	10	3	5	1

第9表 地区別火災発生状況

火災種別 地区別	合 計	建 物	林 野	車 両	船 舶	その他	損害額 (千円)
合 計	41	24	1	3	0	13	60,230
宮 市	7	5				2	5,343
三 田 尻	4	3		1			3,598
華 陽	8	6				2	9,757
華 城	3	1				2	45
牟 礼	7	4		1		2	5,003
向 島	1					1	0
野 島	0						0
西 浦	2	1				1	15,727
大 道	1		1				0
右 田	2	1				1	19,413
玉 祖	4	3				1	78
富 海	1			1			1,263
小 野	1					1	3

救 急 の 部

◎ 救急の概況

1 出動件数及び搬送人員

総出動件数は、4,494件、搬送人員は4,166人で、昨年に比べて出動件数が242件の増、搬送人員は192人の増となった。

2 事故種別搬送人員では急病が1位

事故種別搬送人員は例年と同様に急病が2,544人でトップとなり、全搬送人員4,166人に占める割合の61.1%と昨年の60.8%より0.3%増となった。次いで一般負傷630人（15.2%）、交通事故412人（9.9%）と続いている。

3 全搬送人員の半数以上が60歳以上

搬送人員を年齢別で見ると、60歳代600人（14.4%）、70歳代840人（20.2%）、80歳代以上が1,384人（33.3%）と全体の半数以上の67.8%を占めている。

4 救急救命士及び高規格救急車の運用

平成28年に、救急救命士が医師の指示に基づく救命処置等を実施した傷病者は107人で、全搬送人員の割合では、2.6%である。

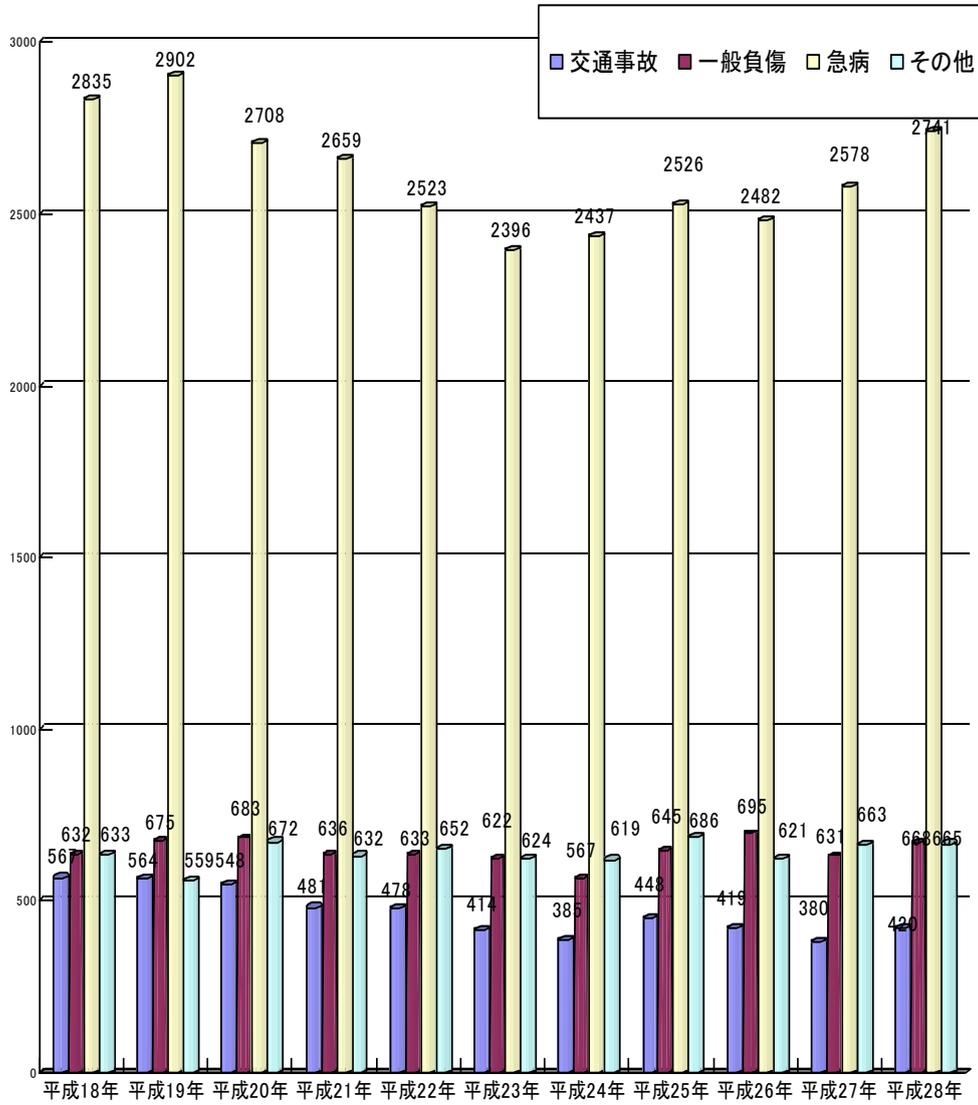
救命処置等の内訳は、器具を使用した気道確保97件（うち気管挿管48件）、静脈路確保67件、除細動7件、薬剤投与61回であった。

平成28年現在、救急現場で気管挿管が行える救急救命士が24人、薬剤投与が行える救急救命士が27人となっている。また、処置拡大に伴い「心肺停止前の重度傷病者に対する静脈路確保及び輸液、血糖測定並びに低血糖発作症例へのブドウ糖溶液の投与」が行える救急救命士を24人養成し、血糖を測定してブドウ糖を投与したのが3件、出血による血圧低下により輸液を行ったのが1件であった。

平成 28 年 救 急 一 目 統 計

- 出動件数 4,494 件 ※平成27年 4,252 件
- 搬送件数 4,118 件 ※平成27年 3,919 件
- 搬送人員 4,166 人 ※平成27年 3,974 人
- 一日の平均出動件数 13 件 ※平成27年 12 件
- 一日の平均搬送人員 12 人 ※平成27年 11 人
- 一日の最多出動件数 25 件 (4/19) ※平成27年 29 件 (2/2)
- (一日の過去最多出動件数 平成27年の29件)
- 一日の最少出動件数 4 件 ^{(6/20.9/8.12} /₆) ※平成27年 3 件 ^{(4/18.7/17.} /_{9/27})
- 救急車は、約117分に一回の割合で出動している。
- 当管内の救急車で、29人に一人が搬送されている。
- 搬送先の医療機関別では、山口県立総合医療センターが1,989人で全体の47.8%
を占める。
- 救急出動の多い月は11月と12月で404件 (少ない月は9月で333件)
- 救急搬送人員の多い時間帯は10時から12時で556人
(少ない時間帯は2時から4時で133人)
- 救急出動の多い曜日は月曜日で698件 (少ない曜日は火曜日で577件)
- 救急出動の多い事故種別は、急病が2,741件 (全体の61.0%)
- 搬送者の多い傷病程度は、中等症で1,997人 (全体の48.0%)
- 搬送者の多い年齢層は、高齢者層 (65歳以上) で2,595人 (全体の62.3%)
- 高速自動車道への出動は、24件であった。

第10表 救急出動件数（総件数）



第11表 過去10年間の救急出動状況

年別 事故種別	平成 19 年	平成 20 年	平成 21 年	平成 22 年	平成 23 年	平成 24 年	平成 25 年	平成 26 年	平成 27 年	平成 28 年
合 計	4,700	4,609	4,408	4,289	4,056	4,008	4,305	4,217	4,252	4,494
火 災	4	5	6	4	3	4	8	2	5	1
自然災害			22				1			
水 難	5		4	5	2	5	3	3	1	5
交通事故	564	548	481	478	414	385	448	419	380	420
労働災害	39	61	38	35	40	37	23	28	31	29
運動競技	56	60	55	53	63	42	66	51	48	42
一般負傷	675	683	636	633	622	567	645	695	631	668
加 害	24	24	18	19	26	22	27	19	25	17
自損行為	72	71	67	66	54	68	63	39	44	33
急 病	2,902	2,708	2,659	2,523	2,396	2,437	2,526	2,482	2,578	2,741
そ の 他	359	449	422	473	436	441	495	479	509	538

平成22年3月31日まで、山口市秋穂区域の消防事務を受託

平成23年3月31日まで、山口市徳地区域の消防事務を受託

第12表 事故種別・月別救急出動件数及び搬送人員

事故種別		合計	火災	自然災害	水難事故	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他
月別													
合計	件数	4,494	1	0	5	420	29	42	668	17	33	2,741	538
	人員	4,166	0	0	3	412	31	48	630	13	21	2,544	464
1月	件数	389				27			62	1	2	246	51
	人員	359				30			58	1	2	222	46
2月	件数	364				30	4	2	48	1	4	234	41
	人員	331				30	4	3	45	1	2	211	35
3月	件数	382			2	33	4	2	49	2	3	236	51
	人員	341			2	30	4	2	47	1	1	215	39
4月	件数	398			1	41	1	5	57	3	2	239	49
	人員	370				40	1	5	55	2	1	223	43
5月	件数	350	1			41	3	6	42	2	6	201	48
	人員	323				42	3	5	38	1	4	191	39
6月	件数	337				29	5	5	58	1	4	189	46
	人員	320				24	7	7	58	1	3	177	43
7月	件数	387			1	33		4	58	2	5	237	47
	人員	362			1	32		4	55	2	1	223	44
8月	件数	392				39	3	2	50	3		254	41
	人員	371				41	3	2	46	2		241	36
9月	件数	333				34	1	3	54		3	212	26
	人員	322				35	1	3	53		4	202	24
10月	件数	354				34	2	7	55	1	1	213	41
	人員	332				30	2	7	54	1	1	198	39
11月	件数	404			1	35	3	6	77	1		232	49
	人員	359				32	3	10	67	1		213	33
12月	件数	404				44	3		58		3	248	48
	人員	376				46	3		54		2	228	43

第13表 事故種別曜日別出動件数

曜日 区分	合計	月	火	水	木	金	土	日
合計	4,494	698	577	600	616	659	674	670
火災	1						1	
自然災害	0							
水難事故	5	1	1		1	1	1	
交通事故	420	68	57	61	72	52	59	51
労働災害	29	6	5	4	7	5	1	1
運動競技	42	4	1	4	1	6	11	15
一般負傷	668	93	84	101	66	95	122	107
加害	17	2	5	2	2	2	4	
自損事故	33	5	3	4	4	9	3	5
急病	2,741	422	335	351	387	392	399	455
その他	538	97	86	73	76	97	73	36

第14表 事故種別時間帯別搬送人員

事故種別 時間帯	合計	火災	自然災害	水難事故	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他
合計	4,166	0	0	3	412	31	48	630	13	21	2,544	464
0～2	197				18			31	1		141	6
2～4	133			1	5			17	1	3	98	8
4～6	143				11			15		2	108	7
6～8	281				31	1		40		1	199	9
8～10	515				64	7	7	86		2	298	51
10～12	556				67	6	15	75	2		273	118
12～14	480				31	5	8	70		5	274	87
14～16	410			1	35	6	9	77	1		231	50
16～18	452				46	3	8	69		2	267	57
18～20	424				61	2		60	5		261	35
20～22	330			1	28		1	51	1	1	229	18
22～24	245				15	1		39	2	5	165	18

第15表 平日・休日別事故種別搬送人員

事故種別 区分	合 計	火 災	自 然 災 害	水 難 事 故	交 通 事 故	労 働 災 害	運 動 競 技	一 般 負 傷	加 害	自 損 行 為	急 病	そ の 他
合 計	4,166	0	0	3	412	31	48	630	13	21	2,544	464
平 日	3,370			3	346	28	33	505	13	17	2,013	412
休 日	796				66	3	15	125		4	531	52

第16表-1 年齢区分別事故種別搬送人員

事故種別 年齢区分	合 計	火 災	自 然 災 害	水 難 事 故	交 通 事 故	労 働 災 害	運 動 競 技	一 般 負 傷	加 害	自 損 行 為	急 病	そ の 他
合 計	4,166	0	0	3	412	31	48	630	13	21	2,544	464
新 生 児	16											16
乳 幼 児	130				9			23			90	8
少 年	133				42		16	14	1	1	56	3
成 人	1,292			1	242	21	31	111	9	13	721	143
高 齢 者	2,595			2	119	10	1	482	3	7	1,677	294

凡 例

- 新生児 : 生後28日未満の者
- 乳幼児 : 生後28日以上満7歳未満の者
- 少年 : 満7歳以上満18歳未満の者
- 成人 : 満18歳以上満65歳未満の者
- 高齢者 : 満65歳以上の者

第16表-2 年齢区分別事故種別搬送人員（詳細）

事故種別		合 計	火 災	自 然 災 害	水 難 事 故	交 通 事 故	労 働 災 害	運 動 競 技	一 般 負 傷	加 害	自 損 行 為	急 病	そ の 他
年齢区分													
合 計	計	4,166	0	0	3	412	31	48	630	13	21	2,544	464
	男	2,135	0	0	2	236	29	40	261	8	12	1,335	212
	女	2,031	0	0	1	176	2	8	369	5	9	1,209	252
0～9	計	169	0	0	0	16	0	0	29	0	0	100	24
	男	90				9			19			51	11
	女	79				7			10			49	13
10～19	計	150	0	0	0	52	0	16	11	2	2	60	7
	男	78				35		12	6	1		21	3
	女	72				17		4	5	1	2	39	4
20～29	計	257	0	0	0	60	6	8	10	1	3	136	33
	男	130				34	6	8	7	1		66	8
	女	127				26			3		3	70	25
30～39	計	199	0	0	0	39	5	10	14	3	2	94	32
	男	110				26	5	9	5	1	2	56	6
	女	89				13		1	9	2		38	26
40～49	計	288	0	0	1	52	2	9	24	0	2	172	26
	男	192				36	1	8	16		2	111	18
	女	96			1	16	1	1	8			61	8
50～59	計	279	0	0	0	54	4	3	36	3	4	158	17
	男	185				34	3	2	23	3	3	104	13
	女	94				20	1	1	13		1	54	4
60～69	計	600	0	0	0	50	9	1	77	1	3	397	62
	男	339				24	9		40		2	224	40
	女	261				26		1	37	1	1	173	22
70～79	計	840	0	0	2	61	3	1	134	2	4	551	82
	男	460			2	27	3	1	57	1	2	322	45
	女	380				34			77	1	2	229	37
80歳以上	計	1,384	0	0	0	28	2	0	295	1	1	876	181
	男	551				11	2		88	1	1	380	68
	女	833				17			207			496	113

第17表 事故種別傷病程度別搬送人員

種別 区分	傷 病 程 度 区 分					
	合 計	死 亡	重 症	中 等 症	軽 症	そ の 他
合 計	4,166	85	269	1,997	1,806	9
火 災	0					
自 然 災 害	0					
水 難 事 故	3	1	1		1	
交 通 事 故	412	4	18	109	279	2
労 働 災 害	31	1	4	20	6	
運 動 競 技	48			17	31	
一 般 負 傷	630	1	13	347	267	2
加 害	13			3	10	
自 損 行 為	21	2	3	6	10	
急 病	2,544	74	165	1,150	1,151	4
そ の 他	464	2	65	345	51	1

凡 例

- 死 亡 : 初診時において、死亡が確認されたもの
- 重 症 : 傷病の程度が3週間以上の入院加療を必要とするもの
- 中 等 症 : 傷病の程度が入院を必要とするもので重症に至らないもの
- 軽 症 : 傷病の程度が入院を必要としないもの
- そ の 他 : 医師の診断がないもの及び「その他の場所」へ搬送したもの

第18表 発生場所別搬送人員

発生場所 区分	合 計					
	住 宅	公 衆 出 入 場 所	仕 事 場	道 路	そ の 他	
合 計	2,284	1,145	112	575	50	
急 病	1,852	490	81	104	17	
交 通 事 故	3	12	2	390	5	
一 般 負 傷	403	129	3	73	22	
そ の 他	26	514	26	8	6	

第19表 現場到着所要時間別出動件数

区分 事故種別	合計	3分未満	3分以上 5分未満	5分以上 10分未満	10分以上 20分未満	20分以上	平均 所要 時間 (分)
合計	4,494	34	443	3,213	793	11	
急病	2,741	20	214	1,976	523	8	7.5
交通事故	420	3	73	268	76		7
一般負傷	668	2	61	489	113	3	7.4
その他	665	9	95	480	81		6.5

第20表 収容所要時間別搬送人員

区分 事故種別	合計	10分 未満	10分 以上 20分 未満	20分 以上 30分 未満	30分 以上 60分 未満	60分 以上 120分 未満	120分 以上	平均 所要 時間 (分)
合計	4,166	1	422	2,061	1,647	34	1	
急病	2,544		169	1,278	1,082	14	1	29.5
交通事故	412	1	49	214	145	3		28.6
一般負傷	630		66	268	291	5		29.5
その他	580		138	301	129	12		25.8

※覚知から病院収容までの所要時間

第21表 救急隊員の行った応急処置数

処 置		事故種別		合 計	急 病	交通事故	一般負傷	そ の 他
		事 故	種 別					
処 置 件 数 合 計				13,804	8,774	1,334	1,917	1,779
止 血				48	9	7	26	6
固 定				253	14	149	61	29
人 工 呼 吸				44	34		5	5
心 臓 マ ッ サ ー ジ				4	3		1	
うち自動				0				
心 肺 蘇 生				94	76	3	7	8
うち自動				0				
酸 素 吸 入				768	555	29	31	153
気 道 確 保				97	80	3	7	7
保 温				32	21	2	4	5
被 覆				291	8	98	155	30
そ の 他				1,893	1,262	144	275	212
拡	在 宅 療 法	点 滴		0	0			
		外 瘻		0	0			
		そ の 他		29	25		1	3
大	喉 頭 鏡 ・ 鉗 子			16	14		2	
	経 鼻 エ ア ウ ェ イ			1		1		
	シ ョ ッ ク パ ン ツ			0				
応	血 圧 測 定			3,728	2,270	374	578	506
	聴 診 器			907	662	86	72	87
	血 中 酸 素 飽 和 度			3,967	2,412	397	608	550
急	心 電 図			1,425	1,161	38	68	158
	救 命 士 実 施	除 細 動		7	5			2
		静 脈 路 確 保		67	54	1	5	7
薬 剤 投 与			61	51	1	4	5	
ブ ド ウ 糖 投 与			3	3				
ラ リ ン ゲ ア ル 等			21	14	1	3	3	
気 管 挿 管			48	41		4	3	

第22表-1 収容医療機関別搬送人員

告示別	事故種別 開設主体別		合 計	急 病	交通事故	一般負傷	そ の 他
	合 計						
	合 計		4,166	2,544	412	630	580
救急告示医療機関	国 立		22	6			16
	公 立		1,993	1,279	120	176	418
	公 的		33	4		1	28
	私 的	病 院	2,034	1,192	288	443	111
		診 療 所	0				
	小 計		4,082	2,481	408	620	573
その他医療機関	国 立		0				
	公 立		0				
	公 的		0				
	私 的	病 院	12	6			6
		診 療 所	71	56	4	10	1
	小 計		83	62	4	10	7
その他の場所			1	1			

※ その他の場所 : 整骨院等や医療機関へ収容する目的でヘリポート等へ中継搬送した場合をいう。(ドクターヘリを使用した場合を除く。)

第22表-2 救急医療体制施設別搬送人員

区 分	傷病程度		死 亡	重 症	中等症	軽 症	そ の 他
	合 計						
合 計		4,004	86	264	1,924	1,721	9
二次救急医療施設		2,004	2	7	1,022	970	3
三次救急医療施設		2,000	84	257	902	751	6

第23表 署所別出動件数及び搬送人員

事故種別 署所別		合計	火災	災害自然	水事 故難	交通 事故	労働 災害	運 技動	一 般傷	加 害	自 損	急 病	そ 他 の
合 計	件数	4,494	1	0	5	420	29	42	668	17	33	2,741	538
	人員	4,166	0	0	3	413	29	48	625	12	20	2,551	465
本 署	件数	2,654	1		3	262	9	28	405	8	24	1,511	403
	人員	2,443			1	249	9	34	379	6	13	1,396	356
南出張所	件数	941			1	79	14	9	120	8	5	602	103
	人員	889			1	82	14	8	115	6	4	571	88
東出張所	件数	899			1	79	6	5	143	1	4	628	32
	人員	834			1	82	6	6	131		3	584	21

救 助 の 部

消防機関の行う救助活動とは、火災、労働災害、破裂事故、水難事故等や特殊災害現場で生命又は身体に危険が及んでおり、かつ、自らその危険を排除することができない者について、危険を排除し、又は安全な場所に救出することにより、人命の救助を行うことをいう。

◎ 救助の概要

1 救助出動は交通事故が第1位

救助出動全件数34件のうち、交通事故による出動が19件で、約56%を占めている。

2 救助隊数・救助隊員数・車両数・保有資機材について

救助隊は本署に1隊1台配置され、隔日勤務の専任隊員5人が配属されている。

救助工作車には、油圧式のスプレッダーやカッター及びクレーン等、要救助者を迅速に救出するための資機材を備えている。

平成 28年 救 助 一 目 統 計

救助出動は、34件	(平成27年	33 件)
救助出動車両等は、延べ178台	(平成27年	164 台)
救助された人数は、22人	(平成27年	22 人)
救助出動場所が多いのは、道路で19件	(平成27年	23 件)
救助出動種別が多いのは、交通事故で19件	(平成27年	25 件)

第26表 事故種別救助活動の状況

区分	事故種別 合計	火災	交通事故	水難事故	風水害等自然災害	機械による事故	建物等による事故	ガス及び酸欠事故	破裂事故	その他
		出動件数	34	2	19	4		1	3	
活動件数	24	2	10	3		1	3			5
救助人員	22		9	3		1	3			6

第27表 発生場所別救助活動の状況

区分	発生場所 合計	屋内		屋外						地下	その他
		住宅	その他の屋内	道路		水面		山岳	その他の屋外		
				高速自動車道	その他の道路	内水面	外水面				
出動件数	34	5		5	14		4	2	4		
活動件数	24	5		3	7		3	2	4		
救助人員	22	3		2	7		3	3	4		

第28表 事故種別出動車両の状況

区分	事故種別	合計	火	交	水	風	機	建	ガ	破	そ
			災	通	難	水	械	物	ス	裂	の
		計	災	故	事	害	による	等による	及び	事	他
合計		178	16	98	30	0	3	12	0	0	19
救助工作車		34	2	19	4		1	3			5
消防ポンプ自動車		25	6	10	6						3
はしご自動車		0									
化学消防車		42	2	27	7			4			2
指揮車・指令車		30	2	18	4		1	2			3
救急自動車		37	2	23	3		1	3			5
船 船		0									
ヘリコプター		0									
その他		8		1	6						1
消防団車両		2	2								

第29表 事故種別出動件数・救助人員の状況

年別	区分	合計	火	交	水	風	機	建	ガ	破	そ
			災	通	難	水	械	物	ス	裂	の
		計	災	故	事	害	による	等による	及び	事	他
H 28	出動件数	34	2	19	4		1	3			5
	救助人員	22		9	3		1	3			6
H 27	出動件数	33		25	1						7
	救助人員	25		16	1						8
増 ・ 減	出動件数	1	2	▲ 6	3	0	1	3	0	0	▲ 2
	救助人員	▲ 3	0	▲ 7	2	0	1	3	0	0	▲ 2

第30表 過去5年間の救助出動状況

事故種別		年 別				
		平成 24 年	平成 25 年	平成 26 年	平成 27 年	平成 28 年
合 計	出動件数	42	38	38	33	34
	活動件数	22	18	23	21	24
	救助人員	26	20	22	22	22
火 災	出動件数					2
	活動件数					2
	救助人員					
交 通 事 故	出動件数	26	25	25	25	19
	活動件数	11	12	11	13	10
	救助人員	15	14	11	14	9
水 難 事 故	出動件数	5	5	2	1	4
	活動件数	4	2	2	1	3
	救助人員	4	1	2	1	3
自然災害事故	出動件数					
	活動件数					
	救助人員					
機械による事故	出動件数	2				1
	活動件数	2				1
	救助人員	2				1
建物等による事故	出動件数					3
	活動件数					3
	救助人員					3
ガス及び酸欠事故	出動件数					
	活動件数					
	救助人員					
そ の 他	出動件数	9	8	11	7	5
	活動件数	5	4	10	7	5
	救助人員	5	5	9	7	6